

図書館だより

2023年1月
127号

The Library Newsletter of National Institute of Technology, Ube College

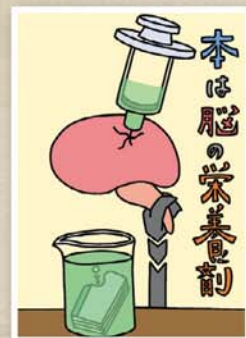


第4回 図書館ポスターコンクール受賞者決定

今年も多数の応募がありました。受賞された作品は図書館を彩ります。
たくさんのご応募ありがとうございました！



最優秀賞 「世界旅行」
制御情報工学科1年 松本大翔さん



優秀賞 「本は脳の栄養剤」
専攻科1年 藤本信義さん



優秀賞 「読書の季節。」
物質工学科2年 山下華央さん

※佳作の受賞者はHPおよび図書館内掲示でかえさせていただきます。

Re:Innovation

特集：宇部高専図書館、こう変わった！

Re:Innovation

特集：宇部高専図書館、こう変わった！

宇部高専は今年創立 60 周年を迎えました。それに伴い創立 60 周年事業の一環として図書館のリニューアルを行うことになりました。更に高専生の学びを高めるキャンパス創造プロジェクトを同時進行させることから、図書館閲覧室・図書館棟玄関・多目的実習室前・管理棟玄関にスポットを当て、今年度から発足した図書館学生ボランティアと共にリニューアル案の打ち合わせを幾度も行いました。

各場所にはテーマを持たせ、利用する方々へのメッセージを込めています。例えば管理棟玄関は「来校される方に向けた宇部高専の過去と現在」、図書館閲覧室は「60 年の歴史と多数の蔵書を備えた知の拠点」等です。学生たちは自身が提案したアイデアを形にするべく、床材の張替えやモザイクアート製作に関わる作業などに取り組みました。学生たちにとってこれほど大きなプロジェクトに携わることは初めての体験だったかと思いますが、意欲的に行動してくれたことは言うまでもありません。

このリニューアル及びプロジェクトにおける成果物は、学生たちが活動した証であり、これから宇部高専を彩る大作でもあります。これらをまだ見ていない方は、この大変化を是非ご自分の目で確認してもらえれば幸いです。

学術情報室副室長 石川 源一



Re:Innovation 1 図書館玄関ホール・多目的ホール

ふらっと立ち寄る いやしの空間

日常的に人がよく通る場所なのですが、とても暗いイメージだったので、机や椅子を一新し、また柱の色を変えることで明るい場所にしました。未来の後輩たちに「これが高専か」といういい印象を与えることができるはずです。



ブックリサイクルコーナー
ができました！

読まなくなった本や置き場所に困った本などをみんなで持ちよったり、気になる本を見つけたら自由に持ち帰ったり、積極的に活用しましょう。

ちょっとしたときに座りやすい、
柔らかい椅子にしました。

トロフィー棚を設置して学生の成果物を発表できるようにし、また、部活動の掲示板も枠を外して貼りやすくしました。



いいなと感じてもらえる場所を目指してレイアウトを考案しました。利用する仲間を見て喜んでいきます。長く使いたいです。

〈担当：4M 岡手 3S 佐川 1E 水取 1E 山本〉



Re:Innovation 2 図書館閲覧室

ほっと一息、こころの休憩所

今回のプロジェクトで、私たちボランティアの最も思い入れのある場所です。今までの読書机は主に勉強用として利用されており、本を読む人が少なかったのです。そこで、勉強の休憩時間などに、どんな人でも時間を忘れて楽しみながらリラックスできる空間を形にしました。



以前は全体的に暗いイメージでしたが、床の色を変えたことで、明るく温かみのある空間へ。

新刊図書の棚も新しくなり図書館全体が見渡せるようになりました。

明るく、とても利用しやすい雰囲気になりました！

椅子はじっくり選びました。色合いや大きさはもちろん、どんな種類がリラックスして本が読めるか、何度も話し合いました。

温かみが増して魅力が増えました。より多くの人に利用して欲しいです。

床の様子は図書館の雰囲気に合ったものをシミュレーションをつかって厳選しました。職人の方に教えていただきながら張り替えもしました。のりを均一に、隙間無く敷き詰める作業はとても難しかったですが良い経験になりました。



のりを塗る作業が思ったより難しかったです。模様が図書館の雰囲気とマッチして良かったと思います。



50周年記念室に展示されていたものを図書館に移動し、展示コーナーを作りました。卒業生の寄贈品も展示されており、宇部高専の歴史を知ることができます。是非お立ち寄りください。

Re:Innovation 3 管理棟玄関ホール

過去と未来を感じる場所

「訪れた人が宇部高専について知ることができる場所」をコンセプトに、玄関としてふさわしい姿にリニューアルしました。特に力を入れたのはモザイクアートです。また、来校者の方に現在と過去の航空写真とともに、60年の歴史を見ていただけるよう、椅子と机を配置しました。同窓会より寄贈された時計は、これから歴史とともに時を刻んでいきます。



拡大するとこんな感じです。

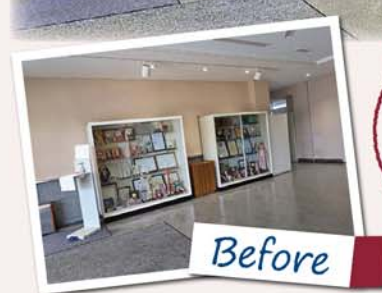
モザイクアート

デザインは、宇部高専を代表する風景を撮った校内の写真にしました。仕上がりをイメージし、建物や人物のバランスなどを工夫しました。

「夢があるからここにいる」という言葉には、先輩の志を受け継ぎ、この場所で道を切り開いていこうという希望を込めています。迷うことや挫折することもあります。当初の夢を思い出して歩んでいきたいものです。

高専が今後100年以上続いていって欲しい、という願いを込めて作りました。

玄関にふさわしいモザイクアートになっていると思います。多くの人に足を止めてみてほしいです。



〈担当：4C 武田 4C 田中 2C 中村 2C 宮里 2B 岩崎〉

リニューアルに携わって

epilogue

今回のリニューアルではボランティアメンバーとともに床の張り替えや展示品の移動などを行いました。床の色が明るくなり、ゆっくりできる椅子や Yogibo などの家具が増えたことで、雰囲気がいよりの明るくなったと思います。是非気軽に図書館を利用してください。

リーダー 岡田 朱音

理想とは何か、正解がないからこそ苦労する部分も多かったです。それでも、みんなで力を合わせ、限られた時間と資金の中で最高だといえるものを作ることができました。忙しい中時間を割いて参加してくれたメンバーや活動を見守っていただいた多くの方々に感謝します。今後も快適な高専生活に向けて図書館からいろいろ発信していくので、ご期待ください！

副リーダー 岩下 芙美香

50周年記念室の資料を図書館に移動させるだけのはずが、いつの間にか話が大きくなっていろいろ大変なこともあったのですが、ボランティアの学生たちが頑張ってくれたおかげで満足のいく仕上がりとなりました。私が主に担当したのは管理棟玄関のモザイクアートです。3万枚以上の写真を使った力作なので是非一度ご覧下さい。

学術情報副室長 荒川 正幹

夢があるから

図書館のリニューアル自体には参加できませんでしたが、見てみるとライトノベルや雑誌のところに Yogibo が置かれていたり、レイアウトが変更されていたりして、気軽に利用しやすい図書館になってすごいと感じました。

元図書委員長 和田 佳也

ここにいる

今回のリニューアルの最大の特徴は図書館学生ボランティアによる活動が中心であったことです。この活動をきっかけとして、学生が飛躍できることを期待しています。

学術情報室長 挾間 雅義



皆様、ありがとうございました。